



そうぞの風

【URL】<http://www.iga.ed.jp/oyamada-e/>

確かな学力を身につけるために

— 令和5年度全国学力・学習状況調査結果より —

4月に6年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の結果が届きました。調査結果からみえる子どもたちの現状、今後の取組についてお伝えします。

1 学力調査結果（平均正答率より）

「全国と比べて上回っている」	⇒ 学校正答率が全国正答率に対して+5%以上
「全国と比べてやや上回っている」	⇒ 学校正答率が全国正答率に対して+2%以上+5%未満
「全国と比べてほぼ同じである」	⇒ 学校正答率が全国正答率に対して±2%未満
「全国と比べてやや下回っている」	⇒ 学校正答率が全国正答率に対して-2%以上-5%未満
「全国と比べて下回っている」	⇒ 学校正答率が全国正答率に対して-5%以上

この表の基準に当てはめると本校は、

◇国語：「全国と比べてやや下回っている」◇算数：「全国と比べてほぼ同じである」と

いう結果でした。

2 学力調査：設問ごとの結果から分かった子どもたちの強み☆と弱み★

《国語》

☆表現の効果を考える

問題：文章の中に入る内容として最も適切なものを選択する。

⇒ 本校正答率 81.5%（全国正答率 67.4%）+14.1P

★漢字を文の中で正しく使う。

問題：いがいに草が生えてきた。（意外）

⇒ 本校正答率 44.4%（全国正答率 52.8%）-8.4P

★分かったことを条件に合わせて書く。

問題：どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことをまとめて書く。

⇒ 本校正答率 51.9%（全国正答率 70.2%）-18.3P

◎「読むこと」については、全国と比べてやや上回っていますが、「書くこと」に弱みが見られました。

また、「同音異義語」の使い分けができにくく、上記の「いがい」を「以外」と書いている児童が多く見られました。

さんすう
《算数》

☆示された標準量と比較量から、ある割合になっているものを選ぶ。

問題：割合が30%になっているものを選ぶ。

⇒ 本校正答率 63.0% (全国正答率 46.0%) +17.0P

★二次元の表から、根拠となる数の組み合わせを選ぶ。

問題：表を見て、条件にあった数字を選ぶ。

⇒ 本校正答率 37.0% (全国正答率 64.6%) -27.6P

◎「数と計算」「図形」「変化と関係」の領域については、全国と比べてやや高いですが、「データを活用」する力に弱さが見られました。



3 児童質問紙調査より<抜粋>

・・・肯定的回答を全国と比べて () は全国の割合

- ① 自分には、よいところがあると思う。 ⇒ 87.5% (83.5%) +4
- ② 将来の夢や目標を持っている。 ⇒ 75% (81.5%) -6.5
- ③ 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。 ⇒ 84.4% (76.5%) +7.9
- ④ 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりのどれくらいの時間、勉強をしているか。(1時間以上の割合) ⇒ 53.2% (57.1%) -3.9
- ⑤ 土曜日や日曜日など学校が休みの日に1日当たりどれくらい勉強をしていますか。(1時間以上) ⇒ 34.3% (52.5%) -18
- ⑥ 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。 ⇒ 84.4% (76.8%) +7.6

4 学力・学習状況調査結果より

今年度から算数科において、県の「わかる授業推進事業」を受け、子どもたちが「わかった」「もっとやりたい」と意欲や自信が持てるように、5・6年生はクラスを2つに分けて少人数授業を行っています。子どもたちの困り感に寄り添い、課題解決を導く授業、なかまとの対話の中で高まり合える授業を目指します。もちろん基礎学力の定着のためには、繰り返しの学習が必要です。朝学習・昼学習も充実させていきます。

学力の定着には家庭の協力が不可欠です。次の点にご協力ください。

- ① 家庭での学習時間は「学年×10分(1年生は20分)」です。学校で習ったことをさらに着実に身につけるために、家庭学習の時間を確保させてください。
- ② スクリーンタイム(動画サイト、テレビ、ゲームの時間)多さは、ここ数年伊賀市の課題となっています。平日3時間・4時間以上という児童もいます。家での過ごし方についておうちでも話し合ってください。
- ③ 読書をしている子どもたちの割合や読書時間は、全国よりも高かったです。学校アンケートでも「読書の時間は楽しい」と答えた6年生の児童は、83%でした。ぜひ、この読書習慣を中学校でも続けてほしいと思います。